

物件 番号	協定者（商号又は名称）	出材予定 森林管理署等	協定数量 （m3）	主たる 樹材種	応募者数	申請者評価点		提案内容（②短期的な貢献等）
						最高点	－	
						最低点	－	
36	－	遠野支署	3,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
37	ノースジャパン素材流通協同組合	遠野支署	3,500	スギ	3	最高点	70	物件番号 1 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	57	
38	株式会社旭林業	宮城北部署	2,000	スギ	2	最高点	71	・自社の原木輸送トラックで山元土場からの直送によりコスト削減を図り、計画的な輸送を行うことで山元土場で材がはけないため搬出ができない等の請負事業の妨げになることを防止できる。そのことで工期に余裕が持て作業を焦ることなく、災害ゼロにつながっていくのではないか。中間土場を確保し一時的に保管することにより計画的な販売につなげる。
						最低点		
39	日本製紙木材株式会社東北支店	宮城北部署	2,000	スギ	2	最高点	75	物件番号 2 0 号の提案内容と同様である。
						最低点		
40	日本製紙木材株式会社東北支店	仙台署	1,400	スギ	2	最高点	75	物件番号 2 0 号の提案内容と同様である。
						最低点	62	
41	株式会社北越マテリアル	仙台署	2,900	スギ	2	最高点	80	・協定物件については、全て弊社工場に納入のうえ、適切な在庫管理を実施し、協定先発電所向けバイオマス燃料チップ素材として利用する。また、購入済み民・国有林から生産される素材と合わせ、協力運送業者と共に、安全最優先のもと効率的な搬出計画を策定。トレーラ輸送比率 U P 等トラック 24 年問題にも配慮しながら、輸送量の維持及びコスト低減に努める。
						最低点	70	
42	株式会社岩澤製材所	米代東部署	2,000	スギ	1	最高点	74	・素材：素材生産業者・森林組合及び国有林から購入または、請負販売した原木調達を増やしながら、地域の林業・木材産業への貢献を図っていく。
						最低点		・製品：「JAS製材品普及推進展示会」に於いて、毎年農林水産大臣賞等三等を目指し、JAS製品はもちろんのこと秋田スギ製材品の価値を全国普及に努める。現在、試作した「ひまわり蜜蝋ワックス」をスギ製品に塗布することにより商品価値を高める工夫をしている。また JAS 2 × 4 認証工場として普及に努める。
								・設備：製材過程で生じるパーク、チップ、おが屑を燃料に木質バイオマスボイラーを使用。秋田県内初の J クレジット制度に登録。石油などの化学燃料削減と地球温暖化防止、国有林資源の有効活用をもとに SDGs を意識した取組に努める。また、地域資源を活かす生産性と歩留まりを向上させる体制づくりに努める。
								・人材：現在全従業員 49 名に対し有資格者 200 名以上で、毎年 5 名以上の資格取得を進めているが、資格では得られない経営方針（地域・顧客貢献等）、生産体制、環境配慮などを意識した組織づくりに取り組む。メンター制度を活用し人材確保と成長を促す。
43	－	米代東部署	2,000	スギ	－	最高点	－	申請なし。
						最低点		
44	－	米代東部署	3,500	スギ	2	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
45	－	米代東部署	3,500	スギ	3	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
46	ノースジャパン素材流通協同組合	米代東部署	4,000	スギ	2	最高点	70	物件番号 1 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	45	
47	ノースジャパン素材流通協同組合	米代東部署	4,000	スギ	2	最高点	70	物件番号 1 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	45	
48	－	上小阿仁支署	3,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
49	株式会社門脇木材	上小阿仁支署	500	スギ	1	最高点	77	・原木の安定供給により、引き合いの強い非住宅向け物件への、安定的な製品の出荷が可能になる。
						最低点		・自社トラックの増便により各土場からの搬出も効率よく運搬が可能になり、現場の丸太がたまらないようになる。
50	－	上小阿仁支署	3,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
51	－	上小阿仁支署	3,000	スギ	2	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
52	秋田県森林組合連合会	上小阿仁支署	4,100	スギ	2	最高点	68	各社の需要動向を見極め、有利販売につなげることで、材価に還元する。また、迅速な販売によって山元の生産現場に材が滞貨することがないようにし、生産事業のスムーズな進行にも貢献できる。
						最低点	64	
53	秋田県森林組合連合会	上小阿仁支署	4,500	スギ	2	最高点	68	物件番号 5 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	66	
54	－	米代西部署	3,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
55	秋田県森林組合連合会	米代西部署	5,000	スギ	2	最高点	68	物件番号 5 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	32	
56	秋田県森林組合連合会	米代西部署	5,000	スギ	2	最高点	68	物件番号 5 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	32	
57	株式会社門脇木材	秋田署	1,500	スギ	1	最高点	77	物件番号 4 9 号の提案内容と同様である。
						最低点		
58	－	秋田署	1,500	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
59	－	秋田署	5,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
60	ノースジャパン素材流通協同組合	秋田署	4,000	スギ	2	最高点	70	物件番号 1 2 号の提案内容と同様である。
						最低点	41	
61	秋田県森林組合連合会	秋田署	5,250	スギ	1	最高点	68	物件番号 5 2 号の提案内容と同様である。
						最低点		
62	株式会社堀川林業	秋田署	5,250	スギ	1	最高点	83	・システム販売材を購入することにより、協定先との納入計画に伴う安定供給ができる。
						最低点		・販売材の運搬時に使用するトラックは 20t・22t 車を配車して、林道の損傷をできるだけ軽減し、林道修繕費の削減及び他の販売材購入者も合わせた運搬効率向上に努める。
								・自社トラックによる早期搬出を目指し、山元土場の回転率向上に努める。よって、生産請負事業の生産性向上にも貢献する。
63	株式会社堀川林業	秋田署	4,600	スギ	1	最高点	83	物件番号 6 2 号の提案内容と同様である。
						最低点		
64	－	湯沢支署	2,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点		
65	北日本索道株式会社	湯沢支署	4,000	スギ	2	最高点	82	・生産工程により発生する全てについてチップとして有効活用する。（製紙用はチップ材、ダストは菌床・畜産敷料・樹皮はバイオ燃料として全て活用する。）
						最低点	76	・署担当者と連絡を密にして、生産現場の進行状況や集積土場の滞貨状況、林道等の状況を把握しながら、無駄のない配車計画により安全で効率的な運搬を図る。
66	北日本索道株式会社	湯沢支署	4,000	スギ	2	最高点	82	物件番号 6 5 号の提案内容と同様である。
						最低点	74	
67	－	由利署	4,000	スギ	－	最高点	－	申請なし。
						最低点		
68	北日本索道株式会社	由利署	4,300	スギ	3	最高点	82	物件番号 6 5 号の提案内容と同様である。
						最低点	65	
69	有限会社遠田林産	庄内署	2,000	スギ	1	最高点	60	・購入した国有林の立木については高性能林業機械にて作業コストの削減を図り、流通量を増やすことによる市場の活性化・安定供給に努める。
						最低点		
70	西垣林業株式会社	庄内署	3,500	スギ	4	最高点	77	・原木受入の自社ヤードは受入制限することなく、24 時間受入可能な体制を取っている。その為、山元土場での停滞を起こすことなく受入が可能であり、国有林の生産事業の円滑な実行に貢献できる。また、物流体制も多くのネットワークを配した長期契約によって確保しており、無駄を排除した合理的な物流コスト削減を反映した価格提示を行うことで、国有林野事業に貢献できる。
						最低点	48	
71	日本製紙木材株式会社東北支店	山形署	4,000	スギ	1	最高点	75	物件番号 2 0 号の提案内容と同様である。
						最低点		
72	株式会社北越マテリアル	山形署	3,000	スギ	2	最高点	80	物件番号 4 1 号の提案内容と同様である。
						最低点	64	
73	株式会社庄司製材所	最上支署	3,000	スギ	1	最高点	70	・自社トラックでの丸太運搬により土場からの運賃コストの削減。工場への搬出から製品出荷までの中間コストの削減。
						最低点		・廃校を使用しバイオマスボイラーの乾燥施設にしたことにより、K D 材生産へのコストダウンを実現。
74	株式会社庄司製材所	最上支署	3,000	スギ	2	最高点	70	物件番号 7 3 号の提案内容と同様である。
						最低点	59	
75	株式会社庄司製材所	最上支署	3,000	スギ	3	最高点	70	物件番号 7 3 号の提案内容と同様である。
						最低点	59	
76	株式会社北越マテリアル	最上支署	5,500	スギ	2	最高点	80	物件番号 4 1 号の提案内容と同様である。
						最低点	67	
77	マルカ林業株式会社ほか 1	最上支署	5,500	スギ	2	最高点	75	・需要創造への貢献：協定ができることにより、地域における唯一のバイオマス発電に対し、安定的かつ、品質の良い木質チップを供給することができる。
						最低点	70	・コスト削減等による国有林野事業への貢献等：弊社において自社所有の車両は 12 台で多様な運材車（4t～22t）を所有しており、あらゆる場面に応じた運搬が可能です。自社運材だけでなく地域の運送会社との長期協定を締結しています。また、ストックヤードは 6 カ所ありますので、森林管理署の担当者と連絡を密にして、山土場からの運搬を停滞することなく運材することができることにより、生産業務の効率化に貢献することができます。
78	マルカ林業株式会社ほか 1	最上支署	3,600	スギ	2	最高点	75	物件番号 7 7 号の提案内容と同様である。
						最低点	70	
79	小国町森林組合	置賜署	2,000	スギ	2	最高点	65	・生産性の向上、低コスト生産、低コスト再造林を提案し、利益還元と循環型森林管理を目指す。
						最低点	64	・根曲がり、伐根・小径などの未利用材を燃料チップに加工することで、資源の有効利用を図る。

＊物件番号 38 号、39 号は、同点となった為、申請価格の上位者と協定を締結。